

## 令和元年度 事業報告並びに活動決算書

### 1. 令和元年度事業全般の経過

当法人の令和元年度事業については、事業計画に基づき取り組みを行いました。

農地の有効活用として継続して進めてきた大豆・そば栽培の支援については、生産から販売までの一連の事業支援を行いました。年々栽培者及び作付面積が減少している状況ではありますが、令和元年度の生育は順調に推移し出荷件数は昨年同様でしたが栽培面積の増加もあり、出荷量においては前年を上回る大豆の出荷となりました。

地域農業の将来の発展を目指す事業では、農業振興センターの「果樹新技術等研究プロジェクト」において設置した座光寺モデル園の管理作業をJA等と協力して行いました。又、遠山郷お茶栽培研究プロジェクト・新品目栽培研究会等と連携し新たな技術・農産物の研究等農業振興の取り組みを行いました。

### 2. 農業の担い手確保と育成

#### (1)担い手確保の取り組み

新規就農につながる取り組みとして、飯田市農業振興センターの農業研修生受入制度により農業研修生を1名雇用し、JA農業研修（2年間）へ参加しました。きゅうり・市田柿を中心とした研修を受講し、住宅・農地等を探し就農に向けた準備を進めました。

#### (2)多様な担い手の確保・育成

短期間に作業が集中し雇用者を求める農家が多い市田柿作業の労働力確保に向け、市田柿加工作業、剪定作業の講習会を農業振興センターと協力し開催しました。特に加工作業講習会では始めて体験する方もいましたが、新たな労働力として期待する講習会となりました。

### 3. 農地の有効活用

#### (1)大豆・そばの生産支援

農地の有効活用を目的とした大豆・そばの栽培は、普及拡大を目指した支援の取り組みを引続き実施しました。栽培説明会等による栽培技術向上への取り組み、大豆・そばの種子申込受付及び播種・収穫作業の機械利用事業による栽培者への支援を行いました。

##### 【主な事業】

- 令和元年産大豆・そば栽培説明会 H31.03.26 (PM2:00・PM5:30 2回) 33名出席
- 大豆・そば種子申込受付 申込者：大豆 21名 175kg (前年 27名 217kg)  
そば 8名 101kg (前年 14名 114kg)

#### ① 大豆契約栽培の取り組み

旭松食品㈱との連携による大豆「つぶほまれ」の契約栽培を継続しました。生産拡大には栽培技術向上を図ることが重要であり、病虫害防除の徹底等を南信州農業改良普及センター及びJAみなみ信州の協力により、栽培説明会及び圃場巡回指導を実施し品質向上に取り組みました。本年度は農産物検査にて2等となる出荷が16.7%、3等が64.4%と全体的に高品質大豆の栽培となりました。販売単価については、旭松食品㈱との交渉により昨年度と同様の価格での販売となりました。

又、(公財)南信州・飯田産業センターと連携し「つぶほまれ栽培・加工研究会」による優良生産者の表彰を行いました。

##### 【主な事業】

- 6月3日 大豆播種前契約説明会 22名出席
- 8月7日 圃場巡回指導の開催 (19件)

○12月24日 第1回大豆検査・出荷受入・販売

○1月24日 第2回大豆検査・出荷受入・販売

【取扱数量】

○農水省農産物検査基準に基づく検査結果 (全域出荷分)

等級	2等	3等	合格	規格外	計
数量	1,110 kg	4,280kg	1,260kg	0kg	6,650kg
比率	16.7%	64.4%	18.9%	0%	100.0%

○大豆契約栽培出荷量の推移

		H27年	H28年	H29年	H30年	R01年	前年比
市内	件数	28	25	17	12	12	100.0%
	面積 (a)	581	440	436	170	211	124.1%
	数量 (kg)	8,180	6,337	3,080	2,514	3,750	149.2%
市外	件数	10	6	7	10	8	80.0%
	面積 (a)	219	223	208.1	241	231	95.9%
	数量 (kg)	4,180	1,540	2,680	4,020	2,900	72.1%
総数	件数	38	31	24	22	20	90.9%
	面積 (a)	800	663	644.1	411	442	107.5%
	数量 (kg)	12,360	7,877	5,760	6,534	6,650	101.8%

② 播種機及びコンバイン他機械利用事業

大豆・そば栽培の播種・収穫機械利用については、JAみなみ信州との業務委託により、利用効率の良い播種と刈取りを行い生産者への支援を行いました。コンバイン機械利用事業の利用者は栽培者の減少と共に減少しており、本年度は阿智の中古コンバイン購入により市外の刈取り利用が大幅に減少となりました。また、JA川路事業所へ設置している大豆の選粒機については前年度並みの利用となりました。

【機械利用取扱実績】

		件数 (戸)	面積 (a)	利用料金 (円)
市内大豆	播種	8	146.0	114,480
	刈取り	18	295.0	337,040
市内そば	刈取り	31	780.0	830,500
飯田市 計		57	1,221.0	1,282,020
市外大豆	播種	1	23.0	24,192
	刈取り	2	33.0	63,250
市外そば	刈取り	6	205.0	369,050
市外 (町村) 計		9	261.0	456,492
合計		66	1,482.0	1,738,512

➤ 大豆選別機利用 (川路) : 利用者 8名 利用数量 6,367kg

## **(2)大豆畑トラスト運動オーナー制度**

大豆畑トラスト運動オーナー制度の事業は、JA 山本支所女性部が中心となり実施してきましたが、部員の高齢化等により事業への対応が困難となり本年度はオーナー募集を行わないこととなりました。昨年度申込みされたオーナーへ出来上がった味噌をお届けし、大豆畑トラスト運動オーナー制度事業は終了となりました。

## **(3)荒廃農地の発生防止**

遊休農地等を再生し有効活用するための整備作業に歩行型草刈機（ハンマーモア）等の貸出しにより、農地の保全・荒廃防止の取り組みを支援しました。

○ハンマーモア貸出利用件数 11 件／整備作業面積 318.6a

## **4. 地域農業の将来の発展を目指す**

### **(1)果樹新技術等研究プロジェクト**

飯田市農業振興センターの令和元年度事業として、果樹作業省力化を目指した新技術の研究、導入に向けた果樹新技術等研究プロジェクトによりモデル園圃場の設置が進められ、当法人は本年度設置された座光寺梨モデル園圃場の農地借用及び苗木定植後の灌水・除草・農薬散布作業等の管理作業を作業委託により実施しました。

### **(2)遠山郷お茶栽培研究プロジェクト（信州玉露栽培試験事業）**

遠山郷お茶栽培研究プロジェクトの3年目として、遠山地区のお茶生産の新たな製品づくりの取り組みとして信州玉露栽培試験を行う計画でしたが、本年度は春先の遅霜の影響を受けた状況で被せを行う事によりお茶の樹が弱る恐れがあるため被せが行えず、信州玉露栽培試験は断念しました。3年間のプロジェクト活動のまとめを行うと共に普及振興について検討しましたが、栽培・販売ともに課題が多く信州玉露の事業化は非常に厳しいとの判断から、信州玉露栽培の普及拡大は断念する結果となりました。

### **(3)りんごの鮮度保持試験（スマートフレッシュ処理）**

前年度の継続事業として、スマートフレッシュ処理により鮮度を保持し長期貯蔵により直売所等での販売期間の長期化につなげる試験を実施しました。12月にスマートフレッシュ処理したふじりんごを予冷庫で貯蔵しJA直売所で販売を行い効果の検証を行いました。6月頃までは貯蔵状態は良好で直売所での販売も好評であり、スマートフレッシュ処理によるふじりんごの鮮度保持・販売は6月末頃までは十分可能であると確認されました。

### **(4)新栽培新品目研究会との連携**

研究会が進めている玉ネギの新たな作型栽培（セット球栽培）実証試験に協力しました。研究会では玉ネギセット球栽培方法の育苗・定植時期・栽培・収穫等に一定の成果が得られたことから普及段階へ移行し、農業振興センター広報「みどりの風」にて玉ネギセット球の自家用栽培希望者を募集し28名の申込者に対する栽培説明会等を協力して行いました。また、ジャガイモ（でじま）、さつまいもの栽培等、今後の農地の有効活用につながる品目を研究する取り組みを連携して行いました。

## 令和元年度 特定非営利活動に係る活動計算書

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取補助金		
受取補助金	2,194,892	2,194,892
2 受託料収入		
受託料収入	0	0
3 事業収益		
事業収益	1,880,674	1,880,674
4 その他収益		
雑収入	29,536	
受取利息	274	29,810
経常収益計		4,105,376
II 経常費用		
1 事業費		
①人件費		
給与手当	2,134,920	
法定福利費	268,070	
人件費計		2,402,990
②その他経費		
種苗代	6,060	
委託料	2,005,564	
消耗品費	5,524	
燃料費	53,616	
賃借料	55,956	
修繕費	107,050	
支払手数料	9,074	
旅費交通費	89,107	
支払保険料	125,280	
租税公課	119,800	
減価償却費	1,020,616	
その他経費計		3,597,647
事業費計		6,000,637
2 管理費		
報酬費	174,000	
雑費	41,458	
管理費計		215,458
経常費用計		6,216,095
当期経常増減額		-2,110,719
当期正味財産増減額		-2,110,719
前期繰越正味財産額		12,008,246
次期繰越正味財産額		9,897,527